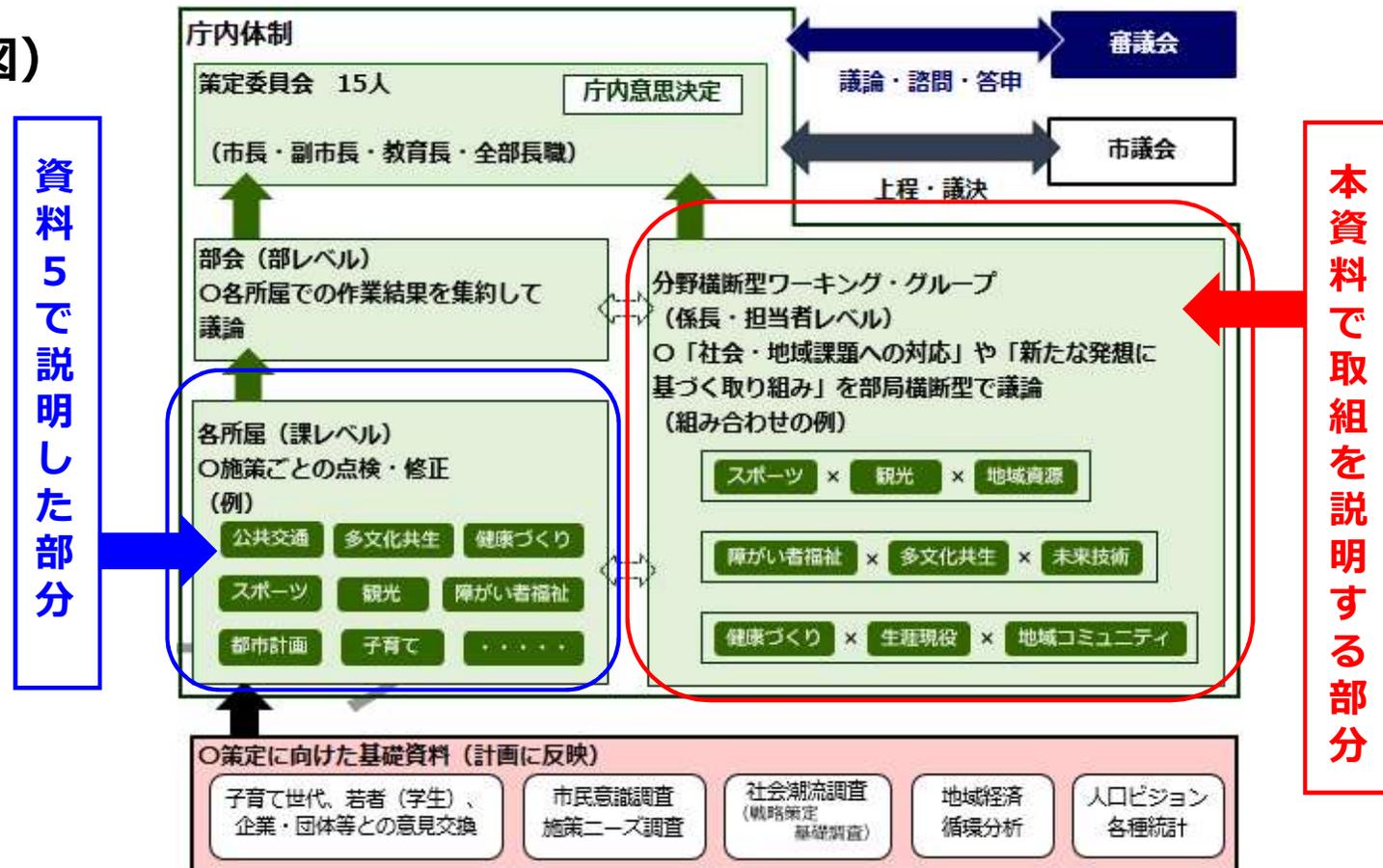


「人生100年時代」「Society5.0社会」の到来を見据えた 新たなまちづくりへの分野横断型による検討

来るべき「人生100年時代」「Society5.0（超スマート）社会」の到来により、社会やひとの暮らしのあり方・価値観は大きく変化していくことから、社会の転換期に対応した新たな仕組みづくりが急務となっている。また、少子高齢化や人口減少は、本市でも避けることのできない事実であり、人口構造が変化する中でも活力ある「まち」であり続けることができるよう、戦略的な取り組みが不可欠である。

このため、「後期基本計画」の策定にあたっては、「前期基本計画」の施策ごとの点検・修正に加え、今後10年先を見据えた必要な取組について、次の3つをテーマとして分野横断型で具体的な施策を検討する。（庁内にワーキング・グループを設置して検討。）

（検討体制イメージ図）



テーマ①

健康・つながり・地域

～誰もが活躍できる

まちを創る～

(内容)

誰もが安心・安全かつ健康で
つながりを持てる地域であるた
めに取り組むべき必要な具体的
施策を検討

(検討の視点)

- ライフステージごとの健康
づくり
- ソーシャルキャピタルの醸成
- 国際交流・多文化共生 など

(メンバー)

- ①健康づくり課、②地域包括
ケア推進課、③協働まちづくり
課、④しあわせ推進課、
- ⑤スポーツ政策課、⑥すこやか
子ども課、⑦危機管理課、
- ⑧企画政策課、⑨市長公室
など

テーマ②

学び・人づくり・暮らし

～まちや地域を担う

人材を育む～

(内容)

生涯活躍に向けたライフス
テージごとの学びやまちの質を
高める文化の活用に向けた具体
的施策を検討

(検討の視点)

- アダプティブで質の高い教育
- 地域固有の文化×デザイン
(芸術)
- まちや地域を担う人づくり
など

(メンバー)

- ①生涯学習課、②学校教育課、
- ③協働まちづくり課、④教育企
画課、⑤すこやか子ども課、
- ⑥おいしい給食課、⑦企画政策
課、⑧市長公室
など

テーマ③

しごと・産業

～多種多様な組み合わせで

まちの価値を高める～

(内容)

まちの中に人知識・技術を取り
入れ結合させることで新たな
価値創出につなげる具体的施策
を検討

(検討の視点)

- 公民連携
(技術とまちのコラボ)
- ICT活用による生産性向上
- シティプロモーションの強化
など

(メンバー)

- ①産業政策課、②農政課、
- ③都市計画課、④都市整備課、
- ⑤環境政策課、⑥建設課、
- ⑦ICT街づくり課、⑧企画政
策課、⑨市長公室
など

総合計画政策体系（案）

分野横断型WG（案）施策の例

（政策2）健康・医療
・福祉・スポーツ

（政策3）都市・環境

（政策5）防災・交通安全
・防犯

（政策6）協働・地域・歴史
・文化・国際交流

テーマ①：健康・つながり・地域

○全世代を通じた健康づくり施策の整理と各コミュニティを通じた効果的な（伝わる）健康づくり事業の実施

○多世代・新旧住民やママ友、外国人市民の交流促進

○新体育館と総合健康センターを一体的に活用した健康づくり・スポーツに親しむ機会の創出・地域交流の促進

○サードスペース（居場所）の創出

（政策1）子育て・教育

（政策6）協働・地域・歴史
・文化・国際交流

テーマ②：学び・人づくり・暮らし

○ICTや思考ツールを活用した対話的・主体的で深い学びの実践

○地域課題解決につながる人材育成（リカレント教育）

○シビックプライドを醸成する教育の実施

○芸術・文化を身近に感じられる機会や暮らしの中に楽しさを感じられる場所（機会）の創出

（政策3）都市・環境

（政策4）産業・就労

テーマ③：しごと・産業

○公民連携（シェアリングなど）による付加価値創出

○観光×地域資源（ここでしかない体験型商品の開発）

○稼げる農業のビジネスモデル創出（マーケティング）

○ICTを活用した生産性向上、多様な働き方推進（テレワーク等）

(ワーキング・グループ実施方法)

○分野横断での施策創出に向け、次の手順で庁内ワーキング・グループを実施

- ①各グループごとに各担当課が現状の取組を整理
- ②「10年後のまちに必要なこと」を踏まえ、バックキャスト型で「今から取り組むべき施策」を各担当課がそれぞれ検討
- ③より効果・効率的な実施を目的としてワーキング・グループ内で施策間連携の可能性を検討
- ④全体を整理・まとめ

○11月6日の第2回総合計画審議会での意見交換の結果を参考に議論の方向性を整理した上で設置。年度内で3回程度の会議を開催し、本年度内に具体的な方向性までをまとめる（R2年度にも2～3回程度開催予定）

○WGで議論した結果の取り組むべき方向性・内容を総合計画に、具体的施策を総合戦略にそれぞれ位置づけ

(意見交換で検討いただきたい内容)

○人生100年時代や少子高齢化の進展などの社会の転換期において、「10年後のまちに必要なこと」の視点からバックキャストした場合、「今から取り組むべきこと」としてテーマは適当か

○3つのテーマの中で「取り組むべき視点や考え方」「重点的に取り組むべき内容」は何か

○社会潮流や本市の人口動態などから、資料に例示した内容以外に「取り組む（検討すべき）内容」は何か